

会津の伝統工芸を紐解く 会津の漆器展

協力／(株)白木屋漆器店様



展示にご協力いただいた会津若松市の白木屋漆器店様は、約三百余年前の慶安年間から続く会津を代表する漆器の製造問屋です。
会津若松市七日町通りにあるルネッサンス様式の店舗は、大正三年竣工の土蔵造り。常時一、〇〇〇種類以上の漆器が展示されています。



かきつばた額皿

会期／平成28年4月14日(木)～6月30日(木)
時間／7:00～20:00(13:00～15:00Close)
場所／裏磐梯高原ホテル 多目的ホール「碧」

会津の伝統工芸を紐解く 会津の漆器展

藩制の頃から会津の重要な基幹産業として経済・文化の両面から支えてきた漆器産業。当ホテルでは、その会津の漆器業を代表する製造問屋である(株)白木屋漆器店様のご協力をいただき、会津の伝統工芸を紐解きます。

(株)白木屋漆器店のご紹介

(株)白木屋漆器店は約300余年前の慶安年間に創業、享保年間から現在の場所で15代続く、会津を代表する漆器の製造問屋です。戊辰戦争後には、荒廃した当地漆器界の復興にあたり、また国内はもちろん西欧の博覧会等においても入賞しております。現在でも150年以上続く江戸時代からのお取引先があるという、深い歴史を持つ由緒ある漆器店です。

歴史的価値も高い社屋店舗

(株)白木屋漆器店には、貴重な建築物資料としての側面も。会津若松市の七日町通りに建つ社屋店舗は大正3年に竣工したルネッサンス様式を取り入れた会津初の洋風商業建築です。見た目は洋風ですが、構造は木造で土蔵造の工法で建てられています。洋風店蔵とでもいえましょう。三階建てで、建築当時は低い街なみの中で目立った存在でありました。建築当初は東側駐車場部分(写真①右側)にも蔵があり、現在資料館として利用している西側の蔵(写真①左側)とあわせて洋館を土蔵が左右から挟むシンメトリックなデザインでした。和洋を並べた不思議な調和をみせていたのですが、残念ながら昭和40年代に取り壊してしまいました。

- | | | |
|---|---|---|
| ① | | |
| ② | ③ | ④ |
| ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| ⑧ | ⑨ | ⑩ |
- ①ルネッサンス調の店舗外観
 - ②外観の意匠/窓のキーストーン風デザイン
 - ③外観の意匠/通り抜けアーチ
 - ④漆喰細工の中心飾り/店舗2階列場
 - ⑤店舗正面の看板/丸に「い」文字は荷印
 - ⑥大正時代駅に掲げた広告
 - ⑦ケヤキの木で作った手すり部分と階段まわり
 - ⑧アールデコ風の玄関の扉
 - ⑨下がり壁の削り形
 - ⑩2階への階段と上り口・漆塗の案内板



(株)白木屋漆器店 / 〒965-8691 会津若松市大町1-2-10 TEL.0242-22-0203
ホームページ <http://www.shirokiyashikiten.com>



ホテル裏庭から望むホテル外観



URABANDAI KOGEN-HOTEL
裏磐梯高原ホテル

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字湯平山 1171
TEL 0241-32-2211(代) FAX 0241-37-1001
<http://urabandai-kougen.com>

公式サイト



facebook

